

平成27年度行政評価 施策評価シート（平成26年度実績）
 施策名 文化財の保存と活用

施策コード 020301

1. 施策の担当	
主管課	教育部 教育総務課
関係課	生涯学習課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第2章 歴史・文化を大切にし、ひとを豊かに育むまちづくり（教育・文化）	節 第3節 歴史・文化
	施策	文化財の保存と活用	

基本方針
 史跡日根荘遺跡を含む指定文化財、埋蔵文化財等は、地域の歴史と文化を物語る貴重な財産であり、計画、方針の策定や様々な方策や連携を行い、豊かな地域づくり、ひとづくりに役立てる方策を進め、普及啓発をはじめ将来に向けて適切な保存と活用をめざします。

現況と課題
 ・ 史跡日根荘遺跡の適切な保存が可能となるように調整、指導、調査を行っています。
 ・ 史跡指定地を含む重要な文化的景観の選定及び保存に向けての計画づくりが求められています。
 ・ 埋蔵文化財については、開発事業等により遺跡が保存できない場合、記録保存による発掘調査の実施に努め、その成果については、積極的に公開を図っていく必要があります。
 ・ 出土した文化財を適切に保管し、評価を行い、展示等の積極的な活用を図っています。
 ・ 適切な文化財の保存と管理を進めるためには、所有者及び管理者との連携が急務です。

施策目標
 対象（誰を、何を、どこを）

市民

意図（どのような状態にしたいのか）
 市民が泉佐野市固有の歴史遺産を知ることで、郷土意識の向上を行う。また、地域の文化財を地域で守る体制や支援づくり、学校及び地域活性化につながる連携した施策づくり。

3. 市民ニーズ							
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
満足度（偏差値）			66.8				
重要度（偏差値）			45.0				

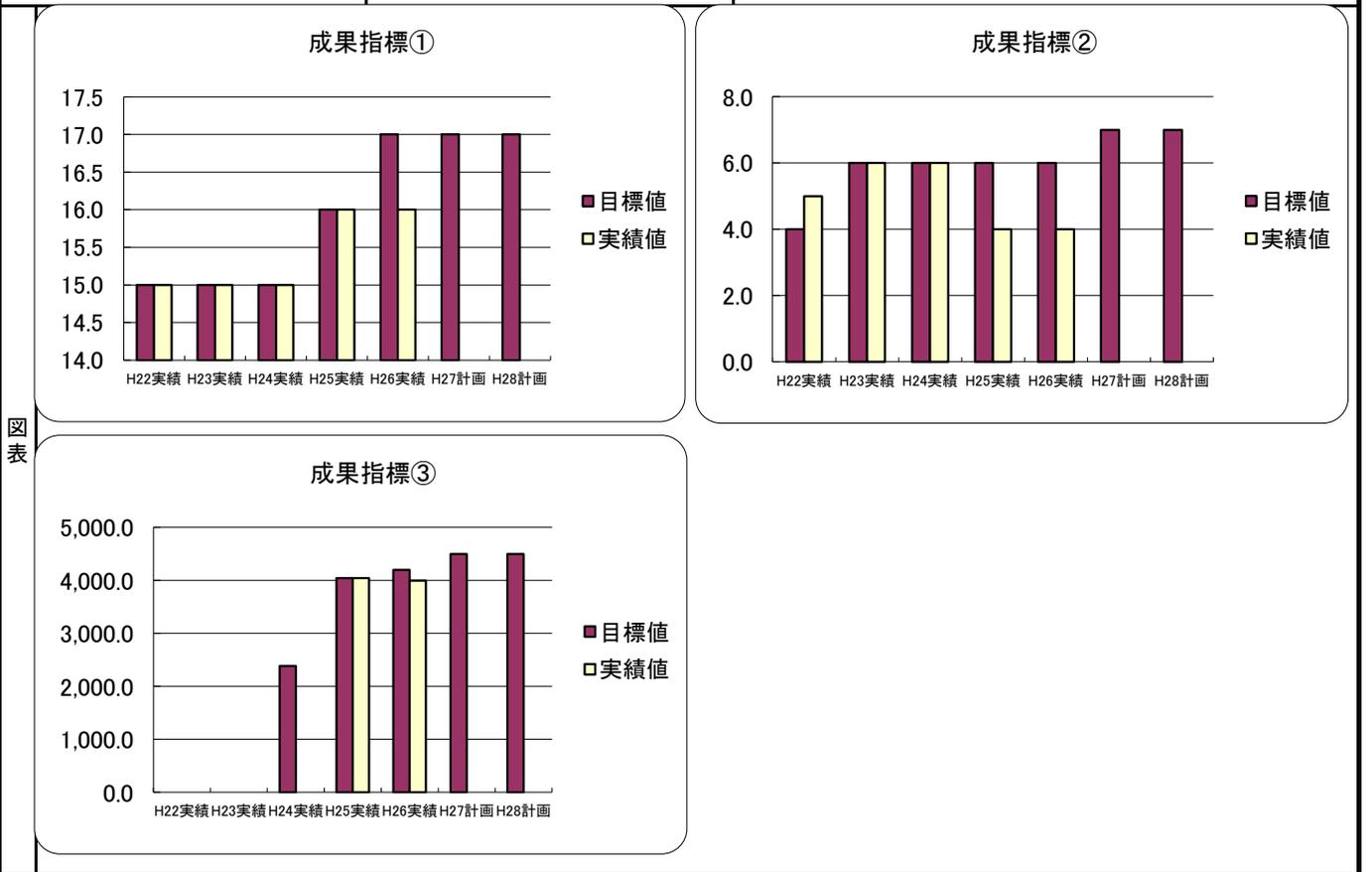
4. 施策にかかるコスト								
	単位	H25決算	H26決算					
コストの内訳	人件費	千円	11,909	12,295				
	事業費		1,718	4,752				
	フルコスト		13,627	17,047				
財源内訳	国庫支出金	千円						
	府支出金							
	市債							
	その他		44	675				
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		13,583	16,372				
一般財源2（＝直接事業費－特定財源）	1,674	4,077						

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		史跡日根荘遺跡の総指定箇所数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	15.0	15.0	15.0	16.0	17.0	17.0	17.0
実績値	15.0	15.0	15.0	16.0	16.0		
達成度	100.0	100.0	100.0	100.0	94.11		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
市内日根野・土丸・大木地区に広がる本史跡については、平成14年の保存管理計画に基づき、順次追加指定をすることで史跡の内容充実をはかり、将来豊かな地域づくり、人づくりに役立てられるよう適正な保存管理と活用めざします。	保存管理計画書で策定した追加指定候補地の計画による。	16地点目の指定地として土丸・雨山城跡が追加指定された。

② 成果指標 2		文化財関連の説明会、体験など普及啓発行事の年間開催数（現地、長福寺跡、教育総務課分室展示室・本庁1階）					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	4.0	6.0	6.0	6.0	6.0	7.0	7.0
実績値	5.0	6.0	6.0	4.0	4.0		
達成度	125.0	100.0	100.0	66.66	66.66		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
文化財の出土品・記録資料の展示解説及び報告説明を様々な場所や環境で行うことにより、市民への調査成果を還元し、地域づくり、人づくりに役立てられるよう普及啓発を推進する。		現在、調査件数の増加と過去の成果分析などを考慮した設定回数。		市役所本庁ロビー展示（全2回）や他施設（泉佐野丘陵緑地パークセンター・高槻市立しろあと歴史館）において市内出土品等を出展した。			

③ 成果指標 3		文化財施設（旧向井家住宅）来館者数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値			2,381.0	4,045.0	4,200.0	4,500.0	4,500.0
実績値				4,045.0	3,994.0		
達成度				100.0	95.09		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
泉佐野市指定文化財の旧向井家住宅の公開と活用を推進する。		旧向井家住宅の公開活用実績値に基づく		地域に愛される文化財として積極的な公開活用を推進していく。			



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 2	景観を重視した荘園遺跡としては全国で初めての国史跡である。全国的にも非常に貴重な中世荘園故地であるということを周知するために継続した成果が必要である。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 3	文化財の所有者や地域の住民に対して文化財保存の意識を高めるとともに、地域社会に活かされる文化財となるよう広報や普及行事などを通じて継続的な施策を展開する。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 2	文化財保護法、府及び市文化財保護条例に基づく文化財の保存をベースとして、近年の戦国ブーム等による歴史的な興味や文化的景観や史跡をはじめとした地域の文化財を保存活用することで、地域の活性化につながる基礎づくりが必須である。
	合計点	(10点中) 7点	

	総合評価	B	本市に残る様々な文化財や資料の調査を実施し、文化財指定や保存修理等での保護を図り、また広く普及啓発事業を推進することで文化財としての価値を維持し、地域の活性化やまちづくりに寄与し、郷土や文化財への理解と関心を高めるための継続した業務が必要である。
二次評価（政策推進課・行財政管理課による評価）		B	引き続き目標値の達成に努めること。
三次評価（理事者による評価）		B	引き続き目標値の達成に努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			H26年度決算額			H27年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01061100	史跡等保存事業	—	—	—	—	A
2	01061300	庁舎管理（教育総務課分室）事業	4,853	2,106	2,087	2,757	B
3	01061400	文化財保存事業	7,442	2,646	1,990	2,667	B
合計			12,295	4,752	4,077	5,424	